

面接・面談の 達人

目には見えない力を鍛える125の問い

サマディグループCEO
日本アクティブラーニング協会 理事長

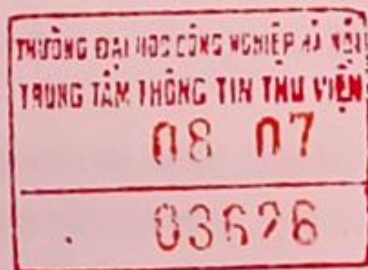
相川 秀希

面接・面談の 達人

目には見えない力を鍛える125の問い

サマディグループCEO
日本アクティブラーニング協会 理事長

相川 秀希



幻冬舎



20歳で創業した塾が、すべてのはじまり

最初の塾生はたった5名。起業資金のほとんどを使い新聞広告を打ったものの、生徒が全く集まらず、結局「ぜひ私の塾に来てください」とご近所中に声をかけてやっと集めたメンバーでした。

そこから紆余曲折を経て、現在は国内外の大手企業や名だたる教育機関に、企業研修をはじめとした新しい教育のシステムやメソッドを開発・提供する人財育成事業を生業としています。

その原点は、40年以上前に立ち上げた塾の経営にあります。

当時の日本の教育は、いわゆる偏差値教育の全盛期。「偏差値の高い学校」に合格するための教育サービスを確立し提供することが、学習塾の最重要課題でした。今でこそ、知識偏重教育がもたらす弊害について問題視されるようになっていますが、その頃は、「偏差値を上げることに疑問を持つ塾経営者は誰もいませんでした。かつ、私が塾を立ち上げた1979年以降は、第一次ベビーブーム世代の子どもたちが、ちょうど受験生となる時期で、全国に学習塾が乱立した時代でもあります。続々と塾が生まれては撤退していく状況を目の当たりにし、「他の塾と同じやり方では絶対に通用しない」と感じながらも、どうしたら良いかは見えないまま、暗中摸索を続ける日々でした。

そんなある日、私の恩師で、当時、早稲田大学第12代総長であった西原春夫先生の講演会が、塾の近くであるということを知りました。それを知った私は居ても立っても居られず、「塾生に一言激励のメッセージを伝えていただけませんか」と、無礼を承知で先生に声を掛けました。すると、先生はそのままの足で塾に来てくだ

さいました。一介の町塾を早稲田大学の総長が訪れるというのは、ネットもないその時代の高校生にとって、俄には信じられない状況です。塾内はあっという間に興奮のるつぼと化し、その熱狂はしばらく覚めることはありませんでした。憧れの早大総長の生の姿を一目見ようと、狭い教室いっぱい集まった塾生たちの目の輝きは、今でも私の心に焼き付いています。

「偏差値を捨てる教育」を決意

その年、偏差値では決して説明のつかない、塾生たちの奇跡的な合格が次から次へと生み出されました。あの出来事をきっかけに本当に心が揺さぶられた時、人間の潜在的な力が大きく発揮されることを心底痛感したのです。

この時、私が決めたのは「偏差値を捨てる教育」です。偏差値ではなく、「目には見えない潜在的な領域」を引き出すことを塾教育の柱にしたのです。受験業界の風習からすると、あまりに非常識かつ非現実的だったと思いますが、そもそも他の塾にはない独自の教育を実現しないと生き残れない状況です。以来、私は、著名な大学教授や有識者らを招いて塾生たちと交流する学びを、高大接続のための「塾育カリキュラム」と銘打ち、次々に企画しました。

独自プログラムにより、偏差値では予測できない進路を掴んでいく塾生を輩出し続け、塾の評判はあっという間に広まりました。同時に、私は従来の教育では決して見出されることのない彼らの本質や内的な変化を、もっと炙りだせないかと考えるようになります。

その結果、ある試みを実践するようになりました。それは、様々な局面で、彼らに色々な「問い」を投げかけるという行為です。

メモから生まれた「25の目には見えない力」

今、私の目の前には100冊を超えるノートがあります。これらは、私が多くの若者たちに問うた質問から、特に心に刺さったやり取りを記録したものです。無茶ぶりとも言える私の質問への打ち返しから生まれた彼らの言葉を、私はその都度メモし続けました。中には、稚拙で直情的なキーワードもありますし、一方で、大人がドキリとするような、深い哲学を感じさせるメッセージもあります。共通するのは、予想できない質問であるが故に返答に作為が働かないせいか、彼らの言葉から何だか生々しさや瑞々しさを感じる点です。一言で言えば、「人間臭さ」とでも言いましょうか……。

実は、これが、本書のテーマである「25 Soft Skills」の源泉です。「25 Soft Skills」とは、弊社が提供する全ての研修事業、教育カリキュラムに通底するテーマであり、今の言葉で言えば、非認知スキルにあたるものです。IQテストやペーパー試験では測れない、人間の目には見えない個性や資質を表すものとして、最近の研修業界では、その重要性がより注目されるようになっていきます。

まさに、この原型となった要素が、私のこれまでのノートに詰まっているわけなのですが、本書ではその中から、最近数年間における125の「問い」と、それに対する若者たちのコメントを厳選して抜粋しています。ここで強調したい点は、なぜ、敢えて最近のノートのみ限定するのか、ということです。

結論から言えば、それは、今の時代を生きる「Z世代」のありのままのメッセージを届けたいと考えたからです。Z世代とは、1990年代後半から2000年代にかけて生まれた、現在10代前半から20代の若者世代のことを指します。世界では、この世代がすでに3分の1を占め、今後の社会に多大な影響を及ぼす存在だと言われています。彼らは、生まれた時からデジタルデバイスが身近にあり、SNSで世界中と繋がり、溢れんばかりの情報の渦に身を浸しながら育った世代です。であるが故に、彼らの価値観や行動様式は、それ以前の世代とは全く異なります。

現在、世界中の企業が、Z世代の心を掴むために、あらゆる試行錯誤をしているにもかかわらず、正直、日本の取り組みはかなり遅れています。少子高齢化が進み、日本に占めるZ世代の割合が小さいことがその一因だと思いますが、世界の潮流から日本だけが免れられるはずはありません。大袈裟ではなく、これからの未来は、彼らの本質をいかにして掴めるかにかかっているのです。

なぜ、日本の企業がZ世代に疎いのか？

Z世代への日本の取り組みが遅れているもう一つの理由として、「偏差値」という日本独特の教育上の価値観が、長く蔓延っていたせいであるとも考えています。

人との比較における優位性や、知識のインプットとアウトプットだけを得点源にする偏差値世代の古い価値観は、自分らしい生き方を尊重し、新しさや創造性に対する高い感度を持ち合わせるZ世代の価値観とは、全く真逆です。そうしたギャップが、コミュ

ニケーションの取りづらさや、先輩世代としてZ世代をどう育てれば良いのかに対する迷いや躊躇いを感じてしまう要因だと思います。

そしてまた、そうした**Z世代と従来世代との対話の鍵を握るのも非認知スキル**だと、私は実感しています。彼らの、「この問いかけに対して、そう来る?!」という、斜め上からのメッセージの断片は、偏差値思考をいくら発揮しても、決して解読することはできません。だからこそ、人間の目には見えない領域を繙くための、非認知スキルこそが、Z世代の本質を解き明かし、彼らと健全かつ対等な新しい関係を築く際の最強のツールになるのです。

面接・面談はもちろん、ペーパーテストの対策にも

ちなみに、私がZ世代たちに投げかけた「問い」の数々は、私独自のものもありますし、企業や大学の採用面接などで実際に問われたものもあります。そして、こうした「問い」に対する、ありのままの言葉として「Z世代のコメント」を掲載しています。さらに、Z世代のコメントを、「25 Soft Skills」の視点から、私なりに短い文章でまとめたものが、「著者のノート」による考察です。あくまでも私個人による意見の集合体ですので、偏った知見もあるでしょうし、もちろんどれも正解ではありません。ただし、Z世代から表出されるものを「25 Soft Skills」を通せばこんな解釈ができるかもしれない、そんな風に、見方を広げるためのひとつの参考にしていただければと思います。

大学受験や就職活動に臨む学生にとっては、**従来の面接対策と**

は異なる視点を、認識するきっかけとなるでしょう。採用担当者にとっては、問いが生み出すリアルな言葉やメッセージから、Z世代たちの中に見るべきものが何かについて、視点を研ぎ澄ますきっかけになるかもしれません。

また、教育改革における象徴的な存在である「大学入学共通テスト」においても、その質的転換が大いに話題になっています。未知の状況を想定して思考をめぐらせる問いや、異なる立場の人間同士の対話を前提にした問いなど、これまでの試験形式とは明らかに異なる、いわゆる「初見問題」が散見されました。過去問題によるパターン練習では、こうした問題に即座に解答することは今後ますます難しくなるでしょうから、このような新傾向問題に対する思考トレーニングとしても、本書を活用いただければと思います。

本書の読み方は自由です。最初から読み進める必要はありませんので、気になったページからでもかまいません。まず「問い」だけを読み「自分だったらどう解答するか」を一旦考えた上で、その後「Z世代のコメント」と「著者のノート」を読めば、独自の視点を深めるためのトレーニング本として機能するかもしれません。

また、5つのSoft Skillsごとにコラムを掲載しています。私が提供する教育プログラムを実際に受けた10代～40代の人物たちの生き方を、私なりに「25 Soft Skills」で解釈しています。目には見えない要素で人財を繙くと、一人ひとりのストーリーが、かけがえのない唯一無二のドラマになる……そんなことをテーマにしています。

とにかく、本書の読み方に正解はありませんので、ぜひ、自分なりのルートで楽しみながら読み進めていただければ幸いです。

THE 25 SOFT SKILLS

Insightfulness (洞察力)	表面的な視点にとどまらず本質を見抜く力がある
Perspective (多角的な視点)	視点や次元を変えた物事への捉え方がある
Curiosity (好奇心)	新しい情報や出来事に対する好奇心がある
Social Intelligence (社会的な知)	社会のルールを基盤とした常識的な考え方ができる
Imagination (想像力)	自分が経験したことがない事象に対する想像力がある
Enthusiasm (熱意)	他者の心を動かす情熱がある
Presence (存在感)	自立した個を感じさせる頼もしさがある
Humor (ユーモア)	ユーモアのセンスがある
Articulation (豊かな表現力)	説得力のある明確な意思表示ができる
Sound Judgement (判断力)	その場で起きたことに対する適切な打ち返しができる
Bravery (勇気)	果敢なる精神と勇気に満ちている
Dedication to Learning (向学心)	真摯に学ぶ姿勢がある
Willpower (自制心)	状況に応じて自己抑制できる
Perseverance (根気強さ)	何らかの結果が出るまで行動し続ける力がある
Belief (確信)	誇りと自信を持って物事に対処できる
Teamwork (チームワーク)	チームで物事を解決する力がある
Reflection (修正力)	他者からの指摘を素直に受け止めてすぐ行動を変える
Honesty (正直さ)	素直に物事を表明できる
Gratitude (感謝の心)	起きている事象に対し感謝の気持ちがある
Generosity (包容力)	他者を許容し包み込む力がある
Tolerance (寛容さ)	忍耐をもって他者を受け入れることができる
Progressiveness (推進力)	あるべき姿に向かって一歩前へ踏み出す力がある
Empathy (共感力)	他者の痛みや喜びを感じ取ることができる
Encouragement (他を奮立たせる力)	自ら他者に働きかけ活性化する
Respect for your Roots (絆)	自分が置かれている環境に対する敬意と感謝がある

目次

まえがき	2
この本の使い方	12
001-005 洞察力 Insightfulness	14
表面的な視点にとどまらず本質を見抜く力がある	
006-010 多角的な視点 Perspective	26
視点や次元を変えた物事への捉え方がある	
011-015 好奇心 Curiosity	38
新しい情報や出来事に対する好奇心がある	
016-020 社会的な知 Social Intelligence	50
社会のルールを基盤とした常識的な考え方ができる	
021-025 想像力 Imagination	62
自分が経験したことがない事象に対する想像力がある	
内向的な性格だからこそ生まれた逆転の発想で コラム 1 独自の視点を極め、難関私大の総合型選抜を突破!	74
026-030 熱意 Enthusiasm	76
他者の心を動かす情熱がある	
031-035 存在感 Presence	88
自立した個を感じさせる頼もしさがある	
036-040 ユーモア Humor	100
ユーモアのセンスがある	
041-045 豊かな表現力 Articulation	112
説得力のある明確な意思表示ができる	

	046-050 判断力 Sound Judgement	124
	その場で起きたことに対する適切な打ち返しができる	
コラム 2	「声の強さと明るさ」で倒産危機を乗り越えた！ 今や国と自治体も注目する企業に成長	136
	051-055 勇敢さ Bravery	138
	果敢なる精神と勇気に満ちている	
	056-060 向学心 Dedication to Learning	150
	真摯に学ぶ姿勢がある	
	061-065 自制心 Willpower	162
	状況に応じて自己抑制できる	
	066-070 根気強さ Perseverance	174
	何らかの結果が出るまで行動し続ける力がある	
	071-075 確信 Belief	186
	誇りと自信を持って物事に対処できる	
コラム 3	NYの超名門企業への入社から波乱万丈の転身 最難関資格を取得し、グローバル人財として活躍中	198
	076-080 チームワーク Teamwork	200
	チームで物事を解決する力がある	
	081-085 修正力 Reflection	212
	他者からの指摘を素直に受け止めてすぐに行動を変える	
	086-090 正直さ Honesty	224
	実直に物事を表明できる	

091-095 感謝の心 Gratitude	236
起きている事象に対し感謝の気持ちがある	
096-100 包容力 Generosity	248
他者を許容し包み込む力がある	
自分自身の未熟さに向き合い、自己成長を遂げ	
コラム 4 国連会議の日本ユースに選出	260
<hr/>	
101-105 寛容さ Tolerance	262
忍耐をもって他者を受け入れることができる	
106-110 推進力 Progressiveness	274
あるべき姿に向かって一歩前へ踏み出す力がある	
111-115 共感力 Empathy	286
他者の痛みや喜びを感じ取ることができる	
116-120 他を奮い立たせる力 Encouragement	298
自ら他者に働きかけ活性化する	
121-125 絆 Respect for your Roots	310
自分が置かれている環境に対する敬意と感謝がある	
父親の反対をバネに最難関の国立看護学部に進学!	
コラム 5 国際機関での医療活動に邁進中	322
<hr/>	
あとがき	324
<hr/>	

ISBN978-4-344-03937-7

C0095 ¥1600E

定価 (本体1600円+税)



9784344039377



1920095016009

TRƯỜNG ĐẠI HỌC CÔNG NGHIỆP
TRUNG TÂM THÔNG TIN THU



Mã sách: 080703626